

【刊夕】日二十月三



休日曜大祭日
日一十月三年五和昭
可輸價郵種三第

意外な絶対多数で 平町修正豫算可決

眞に吾等の議員であること 町民は委員の努力を喜ぶ

平町の六年度豫算は屢報の修正案を可決確定し午後六時如く昨十一日委員会の修正時間閉會したが右に對して其有志は語る

町豫算歳出經常部原案二十八萬八千五百六十六圓を十九萬六千四百六十五圓に修正(一萬二千一圓削減)臨時部原案七萬三千六百六十一圓を八萬四千四百四十圓に修正(一萬四百七十九圓増加)

特別會計水道給水事業費歳出經常部原案六萬九千三百六十四圓を六萬五千九百五十六圓に修正(三千四百八圓削減)臨時部原案十四萬五千九百七十四圓を十四萬六千二百三十八圓に修正(二百六十四圓増加)

を本會議に附された結果は修正案に對して原案支持者及び自己關係を有する議員間に可也強硬な異論があるもので修正案が通過するにしも極めて

少數の 差によるものと見られてゐたが最後に於ける採決の起立に於て廿二對八名の絶対多数を以て石城郡湯本町の入山炭礦從園に値上するもの其他一部

助者から要求あるものに對し同じく現在同工事に従事する労働者卅餘名より給のまゝで差支なしとの陳情が出ている右に關して今日十二日午前十一時工務委員總會を招集し協議する所あり

支部存置運動の 委員上京

平町長外數名

平町が同區裁判所内の支部廢止を懸念し管轄内の石双二部を結束して喰止め運動をなすことは昨報の如く今日十二日の町會の終りに於て石城郡町長會評議員と協議の上代表者上京開會中の議會及び主務省に向つて右存置運動を開始する等であるが平町からは伏見町長町議の代表として青沼、井上、の兩氏が推されるらしく

平町の水道擴張工事使用人夫に關し賃銀を豫算額の一兼言、久保甲六五郎、石ララ商店の伊藤東北販賣部

平町の水道擴張工事使用人夫に關し賃銀を豫算額の一兼言、久保甲六五郎、石ララ商店の伊藤東北販賣部

平町の水道擴張工事使用人夫に關し賃銀を豫算額の一兼言、久保甲六五郎、石ララ商店の伊藤東北販賣部

平町の水道擴張工事使用人夫に關し賃銀を豫算額の一兼言、久保甲六五郎、石ララ商店の伊藤東北販賣部

橋彦七、志賀徳次、小野金太郎、鈴木留五郎、海老原平治

平町税の負擔減 約壹萬圓

一戸平均の 輕減二圓強

平町新豫算が委員の修正通り可決されたことは別項に所報したが右による町税の負擔輕減は左記の如く約一萬圓に上るもので一戸當り正一四萬七千八百二圓家屋稅附加一四三三〇圓(一三五〇〇圓)營業稅附加二九二八圓(二二七七六圓)雜種稅附加二七〇二圓(二五八二四圓)の豫定を以て縣關係發局に打合せ中であるが會場は六〇〇〇圓)壽孤内は修正された數字

平町會は昨十一日新豫算を修正案の通り決定したるに對し町税附加課率改正その他附帶案件附議決定の延長開會を十二日午前十一時から開會されたが修正通過に準じ悉く一瀉千里を以て決定尚は丹野榮三郎氏外左記十八名の寄附に係る町内小學校兒童用ストーブ十一個(價三百卅圓)を採納に決し

平町のクラブ共榮會では最近同會の協調を破つて約一割安の濫賣をなす町内南町ハストーブ寄附者丹野榮三郎、星野甚七、古川四郎、吉田直之助、木幡次郎、大平軍治、山田忠太、新田一、の井に會長である佐川桃太郎、富岡太、大黒屋商店馬目勝次郎氏、中柴光顯、伏見彦外九名の臨時役員會を開き付中であるが弊城高女では去十日の締切後尚ほ郵便志とつてある十二日迄の

平町中女校の
入學志望
若干減少し依
然定員の倍數

平町中女校の
入學志望
若干減少し依
然定員の倍數

申込は三百四十九名(豫定三百六十名)弊城中學は來る十五日の締切に對し百五十二名に上つた同志願には約八十名を見込む町及び内郷、平窪その他の近郷が記南町某商店も之れに服し共榮會と同一步調をとるら未だ願書未提出なので大

石城量器組合 定期總會

本月中に平 署會議室で

石城郡に於ける度量衡及び計量器組合では本月中旬か下旬初め頃に定期總會を開催の豫定を以て縣關係發局に打合せ中であるが會場は平警察署の會議室になるらしく營業四十餘名の出席に對して本縣度量衡檢定所長平町南町裏道路建設の繼續増田技師並に丸山技師の臨席あるらしく議事は當年度の業績報告後昭和四年度の決算及び六年度の豫算その他である

平町南町裏道路建設の繼續増田技師並に丸山技師の臨席あるらしく議事は當年度の業績報告後昭和四年度の決算及び六年度の豫算その他である

平町南町裏道路建設の繼續増田技師並に丸山技師の臨席あるらしく議事は當年度の業績報告後昭和四年度の決算及び六年度の豫算その他である

平町南町裏道路建設の繼續増田技師並に丸山技師の臨席あるらしく議事は當年度の業績報告後昭和四年度の決算及び六年度の豫算その他である

平町南町裏道路建設の繼續増田技師並に丸山技師の臨席あるらしく議事は當年度の業績報告後昭和四年度の決算及び六年度の豫算その他である

平局から去九日東京高等學校教授小野芳雄氏の名を以て同氏の郷里岩手縣西磐井郡山田村の郷家小野惣太郎方へ出張中盜難に遭つたから金三百圓を送れと電報せらるものもあるが當人芳雄氏は出張してゐないので偽電と判り岩手縣警察部の照會により平署が犯人捜査中のところ湯本町に潜伏中なる舉動不審の二人組の男がそれと睨まれ檢査取調への結果宮城縣伊具郡額田町生れ太田木(三)及び岩手縣西磐井郡山田村生れ上野浩(三)と稱し偽電報で所記の三百圓を騙取したものと判つたが兩人共餘罪ある見込で引續き取調中である

高坂消防で ポンプ購入

石城郡内郷村の高坂消防組

石城郡内郷村の高坂消防組では今回五馬力のガソリン唧筒一臺を千五百圓位で購入することに決し十一日小頭遠藤嘉一氏外一名各買入の爲め上京した

石城郡内郷村の高坂消防組では今回五馬力のガソリン唧筒一臺を千五百圓位で購入することに決し十一日小頭遠藤嘉一氏外一名各買入の爲め上京した

石城郡内郷村の高坂消防組では今回五馬力のガソリン唧筒一臺を千五百圓位で購入することに決し十一日小頭遠藤嘉一氏外一名各買入の爲め上京した

石城郡内郷村の高坂消防組では今回五馬力のガソリン唧筒一臺を千五百圓位で購入することに決し十一日小頭遠藤嘉一氏外一名各買入の爲め上京した

石城郡内郷村の高坂消防組では今回五馬力のガソリン唧筒一臺を千五百圓位で購入することに決し十一日小頭遠藤嘉一氏外一名各買入の爲め上京した

平局から去九日東京高等學校教授小野芳雄氏の名を以て同氏の郷里岩手縣西磐井郡山田村の郷家小野惣太郎方へ出張中盜難に遭つたから金三百圓を送れと電報せらるものもあるが當人芳雄氏は出張してゐないので偽電と判り岩手縣警察部の照會により平署が犯人捜査中のところ湯本町に潜伏中なる舉動不審の二人組の男がそれと睨まれ檢査取調への結果宮城縣伊具郡額田町生れ太田木(三)及び岩手縣西磐井郡山田村生れ上野浩(三)と稱し偽電報で所記の三百圓を騙取したものと判つたが兩人共餘罪ある見込で引續き取調中である

騙取の賊 失敗して平 署に搦まる

署に搦まる

平局から去九日東京高等學校教授小野芳雄氏の名を以て同氏の郷里岩手縣西磐井郡山田村の郷家小野惣太郎方へ出張中盜難に遭つたから金三百圓を送れと電報せらるものもあるが當人芳雄氏は出張してゐないので偽電と判り岩手縣警察部の照會により平署が犯人捜査中のところ湯本町に潜伏中なる舉動不審の二人組の男がそれと睨まれ檢査取調への結果宮城縣伊具郡額田町生れ太田木(三)及び岩手縣西磐井郡山田村生れ上野浩(三)と稱し偽電報で所記の三百圓を騙取したものと判つたが兩人共餘罪ある見込で引續き取調中である

平局から去九日東京高等學校教授小野芳雄氏の名を以て同氏の郷里岩手縣西磐井郡山田村の郷家小野惣太郎方へ出張中盜難に遭つたから金三百圓を送れと電報せらるものもあるが當人芳雄氏は出張してゐないので偽電と判り岩手縣警察部の照會により平署が犯人捜査中のところ湯本町に潜伏中なる舉動不審の二人組の男がそれと睨まれ檢査取調への結果宮城縣伊具郡額田町生れ太田木(三)及び岩手縣西磐井郡山田村生れ上野浩(三)と稱し偽電報で所記の三百圓を騙取したものと判つたが兩人共餘罪ある見込で引續き取調中である

平局から去九日東京高等學校教授小野芳雄氏の名を以て同氏の郷里岩手縣西磐井郡山田村の郷家小野惣太郎方へ出張中盜難に遭つたから金三百圓を送れと電報せらるものもあるが當人芳雄氏は出張してゐないので偽電と判り岩手縣警察部の照會により平署が犯人捜査中のところ湯本町に潜伏中なる舉動不審の二人組の男がそれと睨まれ檢査取調への結果宮城縣伊具郡額田町生れ太田木(三)及び岩手縣西磐井郡山田村生れ上野浩(三)と稱し偽電報で所記の三百圓を騙取したものと判つたが兩人共餘罪ある見込で引續き取調中である

平局から去九日東京高等學校教授小野芳雄氏の名を以て同氏の郷里岩手縣西磐井郡山田村の郷家小野惣太郎方へ出張中盜難に遭つたから金三百圓を送れと電報せらるものもあるが當人芳雄氏は出張してゐないので偽電と判り岩手縣警察部の照會により平署が犯人捜査中のところ湯本町に潜伏中なる舉動不審の二人組の男がそれと睨まれ檢査取調への結果宮城縣伊具郡額田町生れ太田木(三)及び岩手縣西磐井郡山田村生れ上野浩(三)と稱し偽電報で所記の三百圓を騙取したものと判つたが兩人共餘罪ある見込で引續き取調中である

平局から去九日東京高等學校教授小野芳雄氏の名を以て同氏の郷里岩手縣西磐井郡山田村の郷家小野惣太郎方へ出張中盜難に遭つたから金三百圓を送れと電報せらるものもあるが當人芳雄氏は出張してゐないので偽電と判り岩手縣警察部の照會により平署が犯人捜査中のところ湯本町に潜伏中なる舉動不審の二人組の男がそれと睨まれ檢査取調への結果宮城縣伊具郡額田町生れ太田木(三)及び岩手縣西磐井郡山田村生れ上野浩(三)と稱し偽電報で所記の三百圓を騙取したものと判つたが兩人共餘罪ある見込で引續き取調中である

桐の栽培

農家の空地 利用に得策

栽植しての後は其の先端の二、三節を剪去し頂芽を二ツだけ残して他の下部の芽は一切除去するのです。又頂芽の中、強健の芽を残して伸長させるのである。此の先端の一、二節を除去するのは頂芽の伸長力を強くする爲めである。然し此の爲めに多少幹が迂曲して一兩年の間外観が餘りよくない様なこともあるが数年の株には真直ぐになつて品質には影響がなくなるから気にすることは無い。だが此の際去部に少しでも突起部が残ると他日その部が枯死して本幹内部の材質を痛めるおそれがあるからかかもの、残らない様に本幹面に沿ふて、鋭利な小刀等を以て削り去ることを怠つてはならぬ。又花は蕾のうちには鎌を棒に結びつけて切り去るがよい。この他總て除去する必要のある枝はその枝の莖部即ち本幹との接觸部から切斷して断面の早く癒着するがよろしい。

桐は「丈三仕立て」と云つて本幹の枝下の長さを一丈三尺に仕立てることが大切である、と云ふのは桐材は六尺五寸を以て材積の單位とするからである。

平町 市原 院 醫

内科 外科 小兒科 梅毒 淋病

電話 一四一四番

山野邊藥局

平町五丁目

ガソリン モビール油 日本石油 株式會社

特約販賣 關内商店

支店 郡山市 電話三三八

支店 茨城県 關本驛前 電話四七三三

支店 平町四丁目 郵便局前

磐城佑賢學舎生徒募集

一本 科 入高等科卒業程度の男女

一普通 科 尋常科卒業程度以上の男

一新農 科 格高等科卒業程度の男女

一、右各科共に入學試験は行はず 願書受付順に入學を許可す

一、新學期開始 四月六日

一、詳細は規則書請求のこと

昭和六年三月 平町六間門廿番地 (電話九三番)

磐城佑賢學舎

磐城銘酒 表代

美味經濟 油醬ルマヤ

山崎合名會社

電話十番

醫院開業

私儀今般左記場所を醫院を開業一般診察に従事致すべく候

平町新川端(釜屋新宅向)

難波 醫學博士 難波 睦

電話五〇二番

内科一般 午前宅診(午前九時より) 午後往診 但し急患は此限りに非ず

ライト 寫眞館

平町搔搦小路 電話五三五番

笠間稻荷神社參拜 團體募集

期日 昭和六年三月廿六日(舊二月八日) 午前五時南町丸昌ホール集合 同日正六時出發

道程 自動車往復 笠間神社參拜新橋 歸途 磯波大洗神社 明治記念館參拜 魚來庵ニテ中食 村松山虚空齋參詣 同日歸平解散

會費 金四圓卅錢也(即納ノ事)

申込日 三月廿日迄トス

平商會 笠間神社參詣團體申込所 電話四二九番

後援 いはらき新聞平支局

煙突は 朝日

石綿セメント製

朝日煙突

釜屋商店

絶対に ばぜない! 経済的で 火災の心配がない

豫告

櫻花假裝廣告 ウィンド裝飾 大懸賞

期日 四月十二日(日曜日)

詳細はいはらき新聞ニテ發表

主催 いはらき新聞社

後 平町 役 場 高木

新いわき新聞社 磐城 新聞社 磐城 時報社 常磐 毎日新聞社

アゲイン

幾多の治療劑中超然として偉効靈能を有するものは獨り本劑のみ

肺病、肋膜炎、肺炎、カタル等

定價(一圓、四圓、六圓)

平町五丁目 特約店 山野邊藥局

第廿五回 生徒募集

一、卒業は産婆看護婦科を通じて一ケ年

一、入學資格 高等小學卒業又ハ同等以上の學力ある者へ無試験入學を許す

一、申込期日 四月八日迄

平南町 電話三〇七番

平南町 産婆看護婦學校 校長 清野キヨ